

ひらこう世界へ…
世界へ向けて大きく羽ばたく「ひのっ子」
中学生国内留学体験を終えて

12月26日～28日までの3日間、東北新幹線とバスを乗り継ぎ、市内中学校の生徒20名が、福島県岩瀬郡天栄村にある「ブリティッシュヒルズ」を訪れ、国内留学体験を行いました。この事業は、今年で第16回を迎え、東京日野ロータリークラブと日野市教育委員会との共催で実施しています。



日野市教育委員会は、教育目標の1つに「ひらこう世界へ」を掲げています。日野市に住む子供たちが、私たちの暮らしにふさわしく、地球全体へと大きく広げ、世界に向けて羽ばたいてほしいという願いが込められています。未来の社会を創造する主体者として、世界で活躍できるひのっ子の育成を目指し、小・中学校での連続性をもった英語教育の充実や、体験型英語教育を推進しています。

「ブリティッシュヒルズ」は、疑似体験型の国際研修施設です。施設スタッフは、外国人講師をはじめ、日本人講師もみな英語で会話をします。参加した生徒たちは、世界の英国の建物に囲まれた街並みの中で、異文化体験をしながら、英語によるコミュニケーションを行います。

3日間の研修プログラムでは、外国人講師による会話を中心としたレッスンや活動を行いました。

生徒たちは、英語を使ったコミュニケーションを行う中で、英語で自分の考えを伝えることの楽しさを学びました。初めは緊張していた生徒も、自分の伝えたいことが外国人講師に伝わることに実感できると、次第に自分から英語によるコミュニケーションを

楽しむ姿が見られるようになりました。

また、英語を使った遊びや調理実習では、身近な活動を英語で表現する中で、自然と英語で話したり、失敗を恐れずに英語で表現したり、英語を使つてのコミュニケーションに慣れ親しむことができました。



様々なことを柔軟に受け止めて吸収できる時期にある中学生にとって、この国内留学体験は有意義な学びの機会となっています。

英語によるコミュニケーションやスピーチを通して表現力を高めるとともに、異文化を体験することを通して、広い視野で物事を感じ、考える国際感覚を養うことにつながっています。また、日野市の中学生の代表として、自ら考え、行動することで、世界を舞台に活躍しようとする気持ちや、リーダーシップを育てる機会にもなると考えています。

3日間の研修を通して、生徒たちは英語によるコミュニケーションの楽しさを知り、もつと英語で話せるようになりたい、外国の文化や習慣を実際に確かめたいという思いを強くしていました。

この中学生国内留学体験の実施に向けて、ご尽力いただきました東京日野ロータリークラブ、日野市立中学校の先生方をはじめ、多くの皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

生徒たちは、英語を使ったコミュニケーションを行う中で、英語で自分の考えを伝えることの楽しさを学びました。初めは緊張していた生徒も、自分の伝えたいことが外国人講師に伝わることに実感できると、次第に自分から英語によるコミュニケーションを

ひのっ子
がんばってます
(学校課)

日野第八小学校

『フインスイム全国大会3連覇！』



千葉国際水泳場で行われたフインスイムの全国大会(Openキャピタル杯)

の「50mフリッパージュニア」部」で見事優勝した吉田悠人くん(5年生)。記録は34秒27の大会新記録でした。足を水面から上げすぎず、体を流線型にして水を切り裂いて進みます。この記録は小学6年生も含めた小学生全体の中でも最速記録として表彰されました。スイミングスクールの友達から誘われて始めたというフインスイム。4連覇の期待が高まります。

滝合小学校

●平成30年度炎天寺一茶まつり『全国小中学生俳句大会』入選



4年生・今西梨里愛さん

●「2年間続いている清掃活動」



児童会を中心とした地域清掃をきつかけに、登校の際に

いつも遊んでいる公園のゴミ拾いを毎日続けている児童がおります。学校での教育活動が子ども達の発想で地域に広がりとどんどん進化しています。

夢が丘小学校

環境大臣賞受賞！

第16回「地球となかよしメッセジ2018」(教育出版主催)において、本校4年生窪柚希さんの「四季のある日本」

が環境大臣賞を受賞しました。これは「地球となかよし」という言葉から、感じたり考えたりしたことを絵と文章で表現するものです。柚希さんは最近の異常気象に心を痛め、日本があるこの地球を汚さず動植物を大切にしたいとメッセジを書き、日本の四季のすばらしさを絵で表現しました。



七生緑小学校

七生特別支援学校との交流について

七生の地域の共生社会の実現を目指して、日野第三中学校、夢が丘小学校と一体となり東京都立七生特別支援学校との交流を充実させています。子供たちが協力して司会に取り組んだり、ゲームやダンスと一緒にやったりして、ともに楽しい時間を過ごします。

滝合小学校

●平成30年度炎天寺一茶まつり『全国小中学生俳句大会』入選



4年生・今西梨里愛さん

●「2年間続いている清掃活動」



児童会を中心とした地域清掃をきつかけに、登校の際に

いつも遊んでいる公園のゴミ拾いを毎日続けている児童がおります。学校での教育活動が子ども達の発想で地域に広がりとどんどん進化しています。

夢が丘小学校

環境大臣賞受賞！

第16回「地球となかよしメッセジ2018」(教育出版主催)において、本校4年生窪柚希さんの「四季のある日本」

日々活動しています。先日は、中体連の新人戦があり男子団体戦と個人戦で都大会に出場しました。試合結果は団体戦は残念ながら2回戦で敗退しましたが、個人戦では男子がベスト8(敢闘賞)、女子は3位にそれぞれ1名ずつ入賞することができました。来年度の夏の大会で好成績をあげるために頑張っています。よろしく願いします。

日野第二中学校

第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会出場



10月12日(金)～14日(日)に、第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会が日産スタジアムで行われました。本校陸上部からは、田畑隼(3年)くん、古川謙慎(2年)くんの2名が東京都の代表選手として選出され、男子A200mに、3年生の田畑隼くんが出場しました。惜しくも予選突破とはなりませんでした。今後の競技に向けて良い経験となりました。

平成30年度薬物乱用防止ボスター・標語 東京都選考優良賞受賞



11月25日(日)、東京都議会議事堂都民ホールで、「平成30年度薬物乱用防止ボスター・標語東京都選考」の表彰式がありました。本校からは1年生の奈良徳輝くんが優良賞として表彰されました。彼の作品を紹介いたします。

〇三つ気出る「やせるよ」「平気」「大丈夫」 そんな言葉に だまされないで

本人も受賞について喜んでおり、来年も応募したいと意気込みを語ってくれました。

七生中学校

〇ハンドボール部男子 東京都新人大会ベスト8

7ブロックで優勝を果たし、地区代表として10月21日から始まった都新人大会では、日頃の練習の成果を発揮し、1・2回戦では圧倒的な強さを見せ、準々決勝では惜しくも敗れましたが、見事ベスト8の結果を残しました。

〇女子バスケソフトボール部 東京都新人大会ベスト16

73地区で準優勝を果たし、地区代表として11月18日から始まった都新人大会では、1回戦から接戦に次ぐ接戦を制し、3回戦では私立強豪校の壁に阻まれましたが、見事ベスト16の結果を残しました。両部とも大健闘でした。

日野第三中学校

〇バドミントン部

都大会新人戦ダブルス ベスト8

服部開次さん・服部拓真さん 団体 ベスト16 服部開次さん・服部拓真さん 大知勝斗さん・飯塚楓仁さん 松岡隼太郎さん

〇全国中学生人権作文コンテスト東京大会特別優秀賞(東京都教育委員会賞)「共感の力」



3年 田附紗夕さん 九段合同庁舎での表彰式に参加しました。

〇多摩西人権擁護委員協議会長賞「想像すること」

3年 太田琴美さん 優秀賞 2年 服部航大さん 2年 平井菜々子さん

〇税についての作文

日野第四中学校

「東日本女子駅伝」



11月11日に実施された第34回東日本女子駅伝大会に、本校3年生廣尾七海さんが、東京都代表チームの一員として出場しました。大会では、第4区の走者を務め、区間4位という記録を残し、東京都の大会優勝に、大きく貢献する活躍を見せてくれました。応援していたいた日野市民の皆様、ありがとうございました。

「クリーン活動」



11月26日、生徒会本部が主催した「クリーン活動」が実施されました。四中周辺を中心に、約150名の生徒とPTAの方々も参加し、落ち葉清掃を中心に活動しました。旭が丘中央公園では、清掃活動をしていた光の家の方と協力し、一緒に作業する姿も見られました。清掃後のきれいな場所を見て、すがすがしい気持ちになった行事でした。

大坂上中学校

昨年10月に行われた東京都秋季軟式野球大会に日南地区代表として出場し、東京都第3位の成績を収めることができました。この結果、今年行われる全日本少年野球大会東京都予選、また東京都中学校野球選手権大会へシード校として出場することとなりました。

それぞれの大会へは選手一同臆することなく不撓心で臨みます。



教育センター
平成30年度 日野市立教育センター活動報告調査研究事業の発表会を実施します。

教育センターでは、日野市の教育課題に対応する研究や研修、教員の指導力向上のための研修、若手教員の授業観察・指導・助言、適応指導教室等を行っております。

本年度は、理科教育や郷土教育の調査研究事業の発表、教員研修やわかば教室（適応指導教室）、登校支援状況等についての報告を実施いたします。

教育関係者のみなさま、ぜひ、ご参加を。

日時 平成31年2月18日(月)午後2時15分から午後4時45分まで
会場 教育センター講堂（3階）
活動報告・発表内容

○平成30年度教員研修について（報告）

○平成30年度わかば教室について（報告）

○平成30年度適応指導状況について（報告）

○平成30年度理科教育推進研究について（発表）

○平成30年度郷土教育推進研究について（発表）

問 教育センター（☎592・0505）

大学や企業と連携して最先端技術を活用した理数授業特別プログラムを実施しています。

子供たちの理科の学力向上には、まず科学的な事柄に興味関心をもってもらうことが必要です。そこで、本市では地元や近隣の大学や高等専門学校、そして企業と連携し、小中学生への理数授業特別プログラムを実施しています。今年度も企業、学校等と連携し、5種類の特別授業を実施しています。その中から「東京工業高等専門学校」と連携した「風に向かって走るウインドカーを作ろう」の授業についてご紹介します。

9月12日(水)
実施委託先：

国立東京工業高等専門学校
情報工学科 吉本定伸教授
対象：日野第七小学校4年生
「車が風に向かって走れるの？」。子供たちは、小学校3年生の理科で「風を受けて走る車」は経験しています。今回は走る方向が真逆、「風に向かって」という経験のないことにチャレンジすることになります。

まずは、その「仕組みの説明」から授業は始まりました。

①「かぜ」の力で

②「かざぐるま」が回る。

③「わゴム」で力を伝えて「タイヤ」を回す。

※今日は「うちわ」で「かぜ」を起こします

続いて、「作り方の説明」を受け、「製作」に入りました。

① 竹串にプリーリーとフィルムで風車を作る。

② 竹串2本を台車に合わせて切断する。

③ 竹串にタイヤとプリーリー、輪ゴムをつけて車軸として台車に装着する。

④ 風車の台を車体に両面テープで固定する。

⑤ 風車の台に風車を取り付け、竹串にプリーリーをはめる。

⑥ 輪ゴムを車軸のプリーリーと風車の竹串にかける。

⑦ うちわで風を当てて走らせ、よく走るように調整する。

最後に、みんなで走らせ、競いました。



うちわであおぐと車は近づいてきます。あおぎながら後ずさりする、ハイハイする赤ちゃんを「こまどおいで」と呼んでいるようで、ほほえましい光景でした。

問 教育センター（☎592・0505）

学校課
算数大好きプロジェクト（土曜日等の教育支援構築事業）
廣田敬一先生による「小学生土曜算数教室」

市内小学校の6年生児童60名が、4月から12月までの10回にわたって土曜算数教室に参加しました。前帝京大学客員教授廣田敬一先生を講師に、論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。

12月15日(土)には、今年度最後の算数教室と閉校式を行いました。以下に3名の発表内容を掲載します。

今回、この土曜算数教室に参加して色々なことを教えてもらいました。1つ目はどんなに難しい問題でもそれを簡単な数にして考えるという方法です。この方法を学校の算数でも使い、考えることができました。2つ目は自信をもってみんなに自分の考えを発表するということです。その結果、学校の算数だけ

加して色々なことを教えてもらいました。1つ目はどんなに難しい問題でもそれを簡単な数にして考えるという方法です。この方法を学校の算数でも使い、考えることができました。2つ目は自信をもってみんなに自分の考えを発表するということです。その結果、学校の算数だけ

はくはこの土曜算数教室で算数が少し好きになりました。理由は3つあります。1つ目は「簡単な数にして決まりを見つけた」ということを知れたことです。2つ目は算数教室に出てくる問題が全部おもしろいところです。カードに書いてある記号の決まりを見つけたときは

地域とともに創る
日野市の教育を目指して
平成30年度
全国学力・学習状況調査結果より

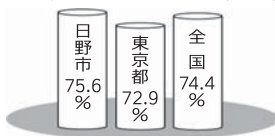
小学校6年生並びに中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が行われ、その結果が文部科学省から公表されました。

この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、義務教育の成果と課題を検証し、改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。今年度は国語、小学校算数、中学校数学に加え、理科を実施しました。結果は下の表をご覧ください。

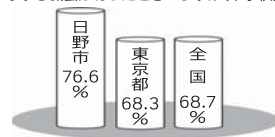
また、意識調査の結果の中で、地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会が多かったと感じている児童・生徒

の割合が全国や東京都を大きく上回っていました。日野市の児童・生徒たちが、地域の方々と様々な協力を得ながら、地域をステージとして学んでいることを実感していることが分かります。

意識調査結果(抜粋)
5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか(小学校)



1,2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか(中学校)



平成30年度 全国学力・学習状況調査結果

	小学校6年					中学校3年				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
日野市	73	55	65	52	62	78	64	68	51	67
東京都	74	57	67	55	62	77	63	67	49	65
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

※ Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題です。

のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

第10回
中学生「東京駅伝」
代表選手決定

2月3日(日)第10回中学生「東京駅伝」大会が調布市にあるアミノバイタルフィールド（味の素スタジアム内）・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて開催されます。

日野市の中学2年生の代表選手が、樺に仲間の思いを込めて走ります。

代表選手は12月1日(土)に開催された日野市民ロードレース大会の記録を基に選考された、男子21名、女子21名の総勢42名です。12月15日(土)に日野第一中学校にて結団式を行い、チームとしての団結を深めました。

選手たちは日野市の代表としての誇りと自覚をもって練習に励み、当日、練習の成果を発揮できるよう準備しています。皆様の応援をよろしく願っています。



郷土資料館
『ひの宝モノ語り展』
くらしの道具に光をあてる

みなさんは、日野市の宝モノを知っていますか。毎日見る景色……田んぼや畑、水の流れ、鳥などの生き物も、もちろん宝モノです。

この展示では、生活の中で使われていた宝モノをご紹介します。

しかし、むかしの道具と聞くと、みなさんは使う時はないかもしれません。

使わなくなったらゴミなのでしょうか。

小さなものから大きなものまで。

かわいいもの、かっこいいもの、ちよつとくさそうなもの。これらはすべて、だれかの宝モノだったものです。

―えっ、それも宝モノ？―

最初、みなさんは驚くでしょう。

―そう、これも宝モノ―

その理由をお伝えします。

また、講座「遊ぼう！たこ揚げ・竹とんぼ・紙飛行機」も参加者募集中です。くらしの道具を、自分で作り、自分で使ってみませんか。

ご来館お待ちしております！



期間 4月14日(日)まで。日曜・祝日開館、2月12日(火)休館、月曜休館
開館時間 午前9時〜午後5時
場所 日野市郷土資料館（日野市程久保550 ☎592・0981）

図書館
平成30年度日野市立図書館
子ども読書活動推進事業
『科学でひもとく
読書の世界』
柳田理科雄さん講演会
を開催しました

日野市内各中学校の代表生徒26名が企画した講演会を11月4日(日)多摩平の森ふれあい館にて開催しました。たくさんの方々に参加いただき、中学生による司会進行の下、あつという間に2時間が過ぎました。

『やってみよう！
科学の実験・検証コーナー』



柳田さんにならって、『空想科学読本』に出てくるものや自分たちでやってみようとしたことを中学生スタッフが実験・検証し発表しました。アルプスの少女ハイジに出てくる大ブランコの模型を作成したチーム、夕焼けの仕組みを実験したチーム、東京から沖縄まで地下鉄を掘ったかどうかを検証したチームなど様々でした。柳田さんは各チームにコメントをくださった。

『疑問に思ったことを実際に自分で確かめてみる』ことが大切だ』と仰っていました。

『柳田理科雄さんの講演』

本やアニメに出てくる物事を現実におきかえると一体どうなるのか、といったお話をしてくださいました。一つひとつ解き明かしていく度に、会場からは感嘆の声や笑いが起こっていました。

また、講演の中で実験も行ってくださり、希望者が壇上に上がり体験してみる場面もありました。フィクションの世界と科学のつながりを感じる柳田さんの楽しいお話に、会場内は終始笑い声が響き渡っていました。



『クイズ＆質問コーナー』

柳田さんに関する三択クイズを行いました。

その後、中学生スタッフが聞きたいこと8問を柳田さんに質問し、著書に関することから柳田さんご自身のことまで、多くの質問にお答えいただきました。

『中学生スタッフとの懇談会』
講演会終了後に、中学生スタッフが柳田さんを囲んで懇談会を行い、1時間という短い時間でしたが、活発に質問が飛び交っていました。中学生から好きな小説やキャラクターの名前が次々と飛び出し、柳田さんはその一つひとつ丁寧に丁寧に答えてくださいました。笑顔であふれた1時間になりました。

『今回の企画について』

中学生からは、いろいろな学校の人と仲良くなれて良かった。実際に著者に会えてうれしかった。また

やってみよう

い等の感想

がありまし

た。本と出

通じて人と

出会う経験

をこれから

も重ねてほ

しいと願っ

ています。



中央公民館
イヤーエンド
パーティーが
開催されました

公民館では日野国際友好クラブの協力を得て「外国人のための日本語教室」が行われています。12月16日(日)には参加者の交流を深めるイヤーエンドパーティーが開かれ、参加者が持ち合わせた国際色豊かな料理をいただきながら交流が行われました。

日野国際友好クラブは地域に住む外国人が暮らしやすくなるようにと1992年に発足され、日本語教室は現在、学習者は約70名、出身国は約20カ国を数え、それぞれのレベルに合わせて指導

文化スポーツ課
こども芸能体験ひろば
11月日野
ジャンルをテーマにした
伝統芸能ワークショップと特別公演

伝統芸能の見どころをギョッとあつめた、ダイジェスト版の特別公演です。

各ジャンルのプロによる本格的な舞台のほか、小学生対象のワークショップも行います。

5つの伝統芸能から、好きなジャンルを1つ選んで体験できるワークショップと、ジャンルを

こえて、各界のプロが一堂に会する特別公演を開催いたします。

ご家族みなさんで、ぜひこの機会にご参加ください！

【体験】

特別公演の前に、気になるジャンルをちよっとだけ体験してみよう！

舞台に出演する各界のプロが、直接レクチャーを行います。

【鑑賞】

いろいろな伝統芸能をダイジェストで一度に鑑賞できる特別公演です！
それぞれの見どころをギョッ

するボランティア60名で活動しています。



毎年恒例 日野市少年学級
「クリスマス会」開催中

オーブニングは明星大学ダブルタッチサークル「Shakin'」の縄跳びパフォーマンスから始まりました。みんな元気に飛び跳ねたり体を動かしたり。今年もいろいろな大学から多く

とあつめて、分かりやすくご紹介いたします(各演目15分程度)。鑑賞は、大人の方だけでもお申込みいただけます。

○実施概要

日時 2月24日(日)

会場 ひの煉瓦ホール

参加費 無料(※要申込)

主催 東京都(公財)東京都歴史文化財団、こども芸能体験ひろば実行委員会

共催 日野市市民会館文化事業協会

後援 日野市、日野市教育委員会

【体験】
時間 午後1時～午後2時

対象 小学生

定員 各ジャンル30名

内容 落語、狂言、和妻、三味線

日本舞踊(おひとり1プログラム)

【鑑賞】
時間 午後2時30分～午後4時30分

対象 どなたでも

定員 1,094名

内容 体験5ジャンルの舞台公演

(プロ実演)

出演 瀧川鯉昇(落語)、小梶直

の学生ボランティアの皆さんに参加、サポートしていただき、ちよっと早めのクリスマス会を、参加した子供たちといっしょに楽しみました♪



※少年学級では、特別支援学級に通う学級生とボランティアスタッフを募集しています。詳しい内容はお問い合わせを。問 中央公民館高幡台分室(☎592・0864)

人ほか(狂言、KYOKO(和妻、清元香葉ほか(三味線)、藤間仁風・若柳里次朗(日本舞踊)

【申込方法】

締切 2月11日(月)祝必着

必要事項

①代表者(保護者)氏名・住所

・電話番号

②【小学生対象】体験プログラム希望者氏名・プログラム名・学年・性別

③【どなたでも】鑑賞プログラム観覧希望人数(※鑑賞プログラムのみ申込可)

宛先 こども芸能体験ひろば事務局

ウェブ 芸団協「informati

on」からアクセス

電子メール geino-hiroba@g

ai.dankyo.or.jp

ハガキ 160-8374 東京都

新宿区西新宿6-12-30 芸能花

伝舎2F(公社)芸団協内

※応募結果は、お申込みいた

いた方法にて2月15日頃返

信(すべての方に返信します)。

※応募者多数の場合は抽選。応

募状況により締切後も募集す

る場合があります。

生涯学習課

日野第五小学校
「土曜科学実験教室」

「土曜科学実験教室」は、観察して考えることを通して、子どもたちに科学のおもしろさを伝える講座です。

地域の多様な経験や技術を持つ人材・企業等の協力により、体系的・継続的なプログラムを子どもたちに提供しています。この講座は近隣の市のアジレントテクノロジーのご協力により実施しています。

今回のテーマは、ニュートンのロケットカー。デザインの楽しさや慣性の法則を実験で体感しながら学びました。



幸せとは手に入れるものではなく、すでにこうして生きていることかも。

幸せとは、家族や友人がいて、空気が水があつて、地球という星が差し出してくるものに支えられて生きていること、ともいえます。幸せになるのに必要なのは、当たり前前の生活の中ですである幸せに気づき、感謝し、それを味わうことです。

感謝の気持ちから、ものを大切にしてゴミを減らす、海や山でゴミを捨てない、水や電気を無駄遣いしない、などを小さいころから習慣づけることが大切です。そうした身の回りの小さなことの実践が、環境を大切にすることをはぐくみます。

出典 文部科学省発行「家庭教育手帳(生涯学習課)

家庭教育通信 29

八ヶ岳高原大成荘から

冬のたよりをお届けします。

大成荘から見た初日の出

ご予約・お問合せは、
フリーダイヤル0120-489-571
(大成荘直通/9:00~19:00)
または、<http://www.kousha.jp/>

八ヶ岳高原大成荘 検索